



日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 40周年事業

第3回

日野の戦跡を通して

- ・日野市企画部平和と人権課
- ・令和5年1月15日(日)

1



日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 40周年事業

みんなで話そう！平和都市宣言って、遠いもの？
わたしたちとのつながり

第1回目、2回目の振り返り

2



- 1、平和都市宣言のなりたちの振り返り
- 2、第1回、第2回目の振り返り
- 3、子ども達からのメッセージ
- 4、本日のテーマ

3



現状と課題から今回の事業の目的

戦後77年目を迎えた今も、世界中で戦禍は無くなっていません。核保有国が増え、核の脅威はむしろ広がっています。



核兵器廃絶と平和を市民生活を願った「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」の制定40周年を迎えた今、もう一度この宣言を読み直し、理解を深め、平和な未来を考える事業を行います。

4



日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

昭和57年10月8日
議 決

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもつてしても、もはやその拡大を止められない事態となつている。

ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいままでもない。

日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。

5



<日野市の動き①>

・日野市でも昭和57年5月29日に「反核、平和のための日野市民集会」が開かれ、500名以上の市民が参加した。

・日野市では昭和57年6月議会について「非核都市宣言」に関する請願が出され、市議会で採択された。



6



<日野市の動き②>

・昭和57年8月5日には広島県安芸郡府中町の呼びかけで日野市を始め、全国から9市町村の首長が参加し、初の「非核宣言シンポジウム」が開かれた。



7



核兵器廃絶・平和宣言を呼びかける共同声明

昭和57年8月5日

巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもってしても、もはやその拡大をとめられない事態となっている。
ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいままでもない。

自治体の平和政策は、自然界の秩序を維持することを原則として、安全で快適、文化的にも魅力ある人間性豊かな都市環境を創出し、住民の住み、働き、学び、憩うという活動が円滑に行えるよう保障することのできる都市づくりが目標である。核軍縮拡大競争により、核兵器が高度化・多様化され、全人類が破滅の危機に立たされているとき、人類最初の原爆被災体験を基本にすえて、人類が共存し、その一人ひとりが生命の尊厳を保って、人間らしく生活できる真の平和実現に寄与することは、自治体に課せられた重大な使命である。
核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が住民生活の基本であるとの理念のもとに、全国の自治体さらには全世界のすべての自治体に核兵器廃絶・平和宣言を呼びかけるものである。

8



<日野市の動き②>

- ・同年9月議会において、「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」の原文が議案上程され可決し、昭和57年10月に施行した。



9

第一回 8月20日「宣言の成り立ち」解説:明星大学人文学部
(平和学・核被害) 竹峰誠一郎教授の講演からの要旨

※お手元の資料をご覧ください。

10

2、第2回目の振り返り

11

Q: 宣言についてどう思う?

Q: 宣言をどう活かす?

グループ名

12

平和都市宣言を市民が見て何をすれば良いか、**平和都市宣言の意味の先行きが分からない。**

宣言について知っていたが、**意味が分かってなかった。**

各都市が平和宣言を出していることは知っていた。見慣れていて**風景の一部**になっていた。

改めて読み返し、**大事な言葉だ**と思った。

地方自治体が動くことで市民の命を守ることを理解した。「戦争は国家、犠牲は住民」。

A

令和4、5年に作る宣言は**レガシーを残したまま**再宣言

子ども達への平和の教育が大切！

10月8日を**平和都市宣言記念日**に！

どのように若い世代へ平和教育をしていくか

昭和57年の宣言はレガシーとして残り、令和4、5年度の新しいものを作成するのが良いと思う。

世界にも目を向けた授業を！日本の歴史はもちろん

子どもが分かりやすい文意もつけ加えながら絵本などで伝わる宣言集をつくるのはどうか。

イベントなどで戦争を経験していない**若い世代に身近**に感じてもらいたい。

13

宣言の後、何をしたいのか。

「米ソ」が昔の感じ

正直最初は古い言葉だと思った。

精神は今も共通！

根付いているのか？

時代が違う。もっと切実。宣言文を作った人の声が届いた。

命を大切に思いやりを持つ

「米ソ」、戦略兵器制限交渉」だけ見直す！

「呼び」→「折え」にする。

十分な市民参画が必要

人ごとっぽくならない。

市議会党派を超えて協力してもらう

戦争の体験を本にする。

B

考えるきっかけを。

価値観や考え方を変えていくきっかけを作る

活かすことを常に考えてほしい

自分ごとにするには？

市議会党派を超えて協力してもらう

具体的な計画を作る

ウクライナの子供達を考えてほしい

なぜ戦争はおわらないのかを考へ続ける

14

平和宣言を知らない人が多い

自らが考え、動く大切さ

分かりにくい

私たちの生活の中に核兵器は無い。(もっと身近に！)

地方自治体として残していくべきもの！

核保有国にどのような働きかけをするれば良いか

革創期に宣言を出したことはすごい

核以外に平和の視点を追加するべき

平和とは戦争と暴力が無く、経済的に安定していること

世界規模の宣言文である。

自分ごとと思えるようにする！

市民の目標を。

40年後につながる宣言

安全保障環境が厳しさを増す中でどのような対応が必要

大使館を通じた対応国際交流ウクライナ

SNSつながり拡散

SDGsの目標の関わり(平和と公正をすべての人に)

ジェンダー多様性の問題との関わり

平和とジェンダー、平和と多様性平和だけではない事業を！

市民の意見を聞ける機会を設けた

世界は都市と連携していく

私たちは今、幸せなのか平和なのか

市外の意見も取り入れていく

中学校でも平和教育をしていく。

他自治体の宣言を参考に

いち早く出した**平和都市宣言**なので、これをレガシーとしてあえて変えないのもよいかも

学生からは**遠い存在**？

非核・平和に絞る

文言を一部訂正(例：米ソ)

戦争は人間を狂わせる魔物だ

「全人類」「文明」など範囲が広く感じた

D

歴史は繰り返す。過去から学べ

アーカイブ事業の中で宣言についても知らせる

宣言から若い世代との学びの機会につなげる

市内の中・高・大・社会人各世代で学ぶ機会を作る

啓発文書配布を幅広く

啓発行事を多く

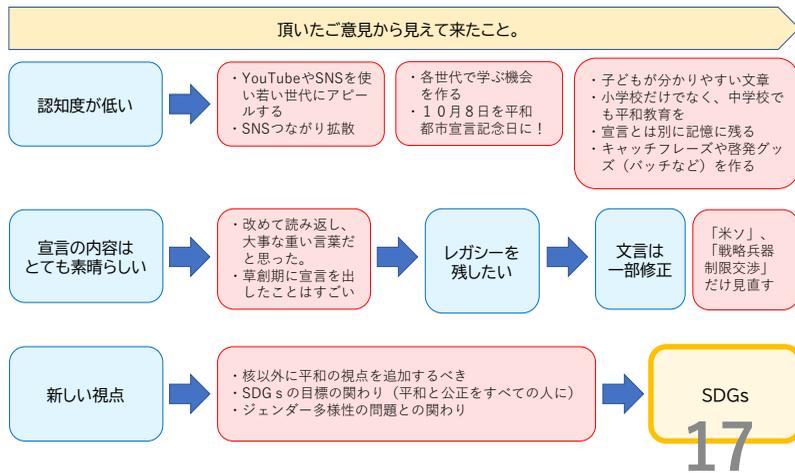
宣言とは別に記憶に残るキャッチフレーズや啓発グッズ(バッジなど)を作る

戦争は勝っても負けても悲劇。平和宣言を永遠に伝える

16

C

15



3、子ども達からのメッセージ

18

令和4年度平和教育



学校平和講話会

4. 平和教育

近隣市の国立市と連携し、「広島・長崎原爆・東京大空襲体験伝承者の派遣講話」を市内全17小学校で実施



日野市立の小学生は、卒業するまでに必ず1回は平和の講話会を聴くことで、命の大切さ、家族への感謝、戦争を二度と起こしてはならないという想いを持って中学生になって頂きたい。

日野市企画部平和と人権課

19

19

あなたにとって、平和とは
どんなことですか？

20

笑う 動物 大きい とおい
悪い あぶない すごい しあわせ 住みやすい ほしい 無い
こと おいしいごはん 平和 なくす 皆 差別 一人一人
悲しい なくなる 平等 なかよい 暮らせる 世界中 ふつう おいしい
ごわい せん 人々 争い 命 幸せ
人間らしい やさしい あらそう 安心 びょう
助け合う くらす くらせる 戦争 けんか
友だち ぼう だれ ぬすむ 世界 ころす できる
たべる さべつ くらし 生活 いじめ けが 楽しい 思う
いい 自由 あんしん ごはん ケンカ あう 仲良い 優しい
起きる すい うれしい いける 生きる 遊ぶ 良い つらい

21

自由 うれしい むずかしい つらい
殺す 合う 仲 せん 楽しい 協力 ありがたい
日常 過ごす 家族 生活 暮らせる えがお 食べ物
苦しい おきる 分かる けんか くらせる 争い 笑う
しあわせ おこる 悪い 人々 認める
無い 差別 けんか くらせる 争い 幸せ 思う
なかよい きずつける 戦争 あらそう
良い 笑顔 安全 ふつう 平和 ぼうり がい おそろしい
死ぬ すごせる 世の中 だれ ぼう ケンカ 多く 友達
やさしい しない 合える 世界 やさしい できる 仲良い いい
高い 生きる 毎日 食べる よい
しまう 少ない

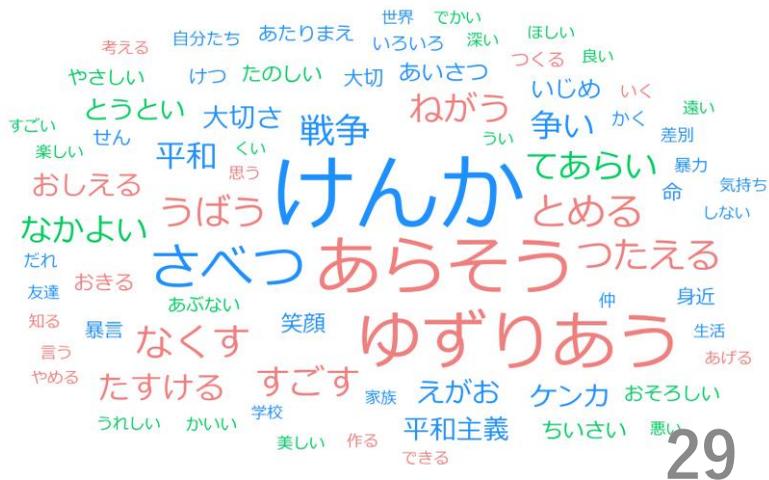
22

楽しむ くらい やさい わるい くるしい
できる ごはん 全い 生きる 生活 思える
しあわせ 幸せ 笑顔 いつしよ あたりまえ おかえり
よい 楽しい 世界中 過る 笑う 友達 思う
食べる すごす くらせる けんか 遊ぶ 安心
明るい 人々 家族 くらせる けんか 遊ぶ 安心
なかよい わらう 1人1人 平和 あらそう くらす
無い 戦争 なにげない えがお ご飯 まいにち
やさしい 争い びょう 世界 日常 平等 いい
だれ いく あう おこる せん たべる 毎日 かなしい
仲良い 自由 しやすい 一人一人 ふつう 合う
気持ちよい くだらない うれしい

23

無い 多い 家族 明るい
いける 生きる 命 せん 食べる 平 ほほえましい 悲しい
少ない はん おこる えがお 平和 うばう 平等 何気ない
笑う 暮らせる びょう くらせる すごせる 学校
世界中 ありがとう くらしやす 戦争 あぶない
なかよい 笑顔 戦争 あらそう 戦争 生活
食べる ごはん くらす 和平 争い すごす 助け合う 楽しい
仲良い 世の中 しあわせ かなしむ けんか おきる 自分たち 悪い
いい 過す 大切 安心 つじ いじめ なくなる 優しい
あたりまえ 協力 できる やさしい

24



4、本日のテーマ

30

1、戦時中、日野市はどのような状況だったのか。

- ・日野市の学芸員による戦跡紹介

2、次世代に伝えたい戦争体験・座談会

- ・明星大学学生から、戦争を体験された方々に聞きたいこと

31